

環境事業に関するアンケート

○目的

大阪市では、地球温暖化対策やヒートアイランド対策の普及拡大に向けた取組や、生物多様性に関する事業等を実施しています。

そこで、市民のみなさまが大阪市の環境関連事業に関して、どのような意識やお考えをお持ちになっているのかをお聞きし、効果的な事業展開を図っていくうえでの参考にするため、今回の調査を実施します。

○質問内容

(1) 地球温暖化対策について

Q 1. <地球温暖化への関心>

あなたは、地球温暖化について関心がありますか。あてはまるものを1つお選びください。

1. 関心がある
2. 関心がない
3. どちらともいえない

Q 2. <省エネ行動の実施状況>

あなたは、地球温暖化の原因となる温室効果ガスを減らすためにどのような省エネルギーの取組をしていますか。あてはまるものをすべてお選びください。

1. 冷暖房時の室温を夏は 28℃程度、冬は 20℃程度になるように調節する
2. 見ていないテレビはこまめに消す
3. 部屋をかたづけてから掃除機をかける
4. 冷蔵庫のドアの開閉を減らし、ものを詰め過ぎない
5. 湯が冷めないよう家族間で続けてお風呂に入浴する。シャワーを不必要にながしたままにしない
6. 洗濯物はまとめ洗いをして洗濯回数を少なくする
7. トイレの温水洗浄便座を使わないときは、フタをしめる
8. 電気製品（電子レンジなど）を長時間使用しないときは、プラグを抜く
9. LED電球を使用している
10. ごみをきちんと分別して出す
11. マイバッグ・マイボトル・簡易包装などでごみを減らす
12. 食事は食べきり、食品ロスを減らす
13. 高効率給湯器や空調機など省エネ型家電に買替えた
14. その他（具体的に： _____)
15. 取り組んでいない（複数選択不可）（⇒Q 4 へ）

Q 3. <省エネ行動を始めたきっかけ>

Q 2 で「1」～「14」を回答された方にお聞きします。

あなたが始めたきっかけをお選びください。（複数回答可）

1. 脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動（通称：デコ活）のサイトを見たから
参考（環境省 HP）：<https://ondankataisaku.env.go.jp/decokatsu/>
2. 地球温暖化による気候変動の影響や被害などにより環境を守ることの必要性を感じるから
3. 節約になるから
4. 家族がやっているから
5. 一人暮らしや結婚、退職など、ライフステージが変わったから
6. インターネットやテレビ、SNS等で見ただから
7. 学校で勉強した、または、子どもが学校で勉強してきたから
8. 友人や近所の方が、取り組んでいたから
9. 講演会・勉強会等に参加したから
10. その他（具体的に： _____)

Q 4. <地球温暖化対策に取り組む際の情報>

地球温暖化対策に取り組む際に、どのような情報があると分かりやすい、取り組みやすいと思いますか。（複数選択）

1. 温室効果ガス（CO₂等）の排出量の目標
2. エネルギー（電気・ガス等）の消費量の目標
3. 大阪市の地球温暖化対策のビジョン（大阪の成長につながる脱炭素社会「ゼロカーボン おおさか」）の提示
4. 具体的な地球温暖化対策の取組み（省エネ行動等）に関する目標とその効果（CO₂削減効果・節約効果等）の提示
5. 地球温暖化による気候変動の影響と将来予測などの情報
6. その他（具体的に _____)

Q 5. <大阪市の地球温暖化対策>

地球温暖化対策として、大阪市はどのようなことに優先的に取り組むべきだと思いますか。あてはまるものを3つまでお選びください。

1. 太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入を促進する
2. 水素など新たなエネルギーの活用を進める
3. EV（電気自動車）やFCV（燃料電池自動車）の普及を拡大する
4. 脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動「デコ活」を推進する
5. 脱炭素マインドを醸成する環境教育・普及啓発を推進する
6. 遮熱・断熱仕様等の導入など、省エネ性能の高い建築物の普及を拡大する
7. 事業活動の脱炭素化に向けた事業者の自主的な取組みを促進する
8. 市役所等公共施設において省エネ化や再生可能エネルギーの導入を拡大する
9. 地域特性を活かした環境技術の実装された脱炭素型のまちづくりに取り組む
10. 公共交通機関や徒歩・自転車等の移動が便利なまちづくりを進める
11. 食品ロス対策やプラスチックごみの削減など、省資源と資源循環を促進する
12. 緑化を推進する。また、国産木材の利用を促進する
13. 地球温暖化対策に関するビジネスの活性化を進める

14. 海外の都市との連携等により国際的な地球温暖化対策に貢献する

15. その他（具体的に ）

Q 6. <気候変動への適応の認知度>

気候変動への「適応（*）」についてお伺いします。あなたは「適応」という言葉を知っていますか。

1. 意味も含めて知っていた
2. 言葉は知っているが、意味は知らなかった
3. 言葉自体を知らなかった

（*）「適応」とは

地球温暖化対策として、温室効果ガスの排出を抑制する取組（「緩和」）を進めたうえで、それでも現在生じている、又は将来の発生が予測される気候変動の影響に対して、その被害を回避し、又は軽減する取組のこと。例えば、自然災害への備え（浸水対策）や熱中症対策も「適応」の取組です。

Q 7. <熱中症警戒アラート、熱中症特別警戒アラートの認知度>

あなたは、「熱中症警戒アラート（* 1）」、「熱中症特別警戒アラート（* 2）」という言葉を知っていますか。あてはまるものを1つお選びください。

1. 熱中症警戒アラート、熱中症特別警戒アラート、両方知っている
2. 熱中症警戒アラートは知っているが、熱中症特別警戒アラートは知らない
3. 熱中症警戒アラートは知らないが、熱中症特別警戒アラートは知っている
4. 熱中症警戒アラート、熱中症特別警戒アラート、両方知らない

（* 1）熱中症警戒アラート

熱中症警戒アラートは、熱中症の危険性を認識してもらうことを目的に、都道府県内のいずれかの観測地点で暑さ指数が3.3以上と予測した場合に発表される情報。

（* 2）熱中症特別警戒アラート

熱中症特別警戒アラートは、熱中症による重大な健康被害が発生するおそれがある場合に、危険な暑さへの注意と熱中症予防行動を呼びかけるもので、都道府県内の全ての観測地点で暑さ指数が3.5以上と予測された場合に発表される情報。

Q 8. <熱中症予防状況>

熱中症予防や対策の取組として、次にあげるものがあります。あなたが取り組んでいるものをすべてお選びください。

1. こまめに水分を補給する
2. 塩分・ミネラルを含む食べ物や飲料を摂取する
3. バランスのよい食事を心がける
4. 朝食をとる
5. 帽子をかぶる

6. 通気性の良い服を着る・軽装にする
7. 窓を開けて室内の風通しをよくする
8. エアコンや扇風機を利用する
9. 直射日光をできるだけ浴びないようにする
10. 日傘をさす
11. 日中の暑い時間帯の外出を避ける
12. 十分、睡眠をとる
13. 規則正しい生活をこころがける
14. 本格的に暑くなる前から暑さに慣れるための発汗運動（暑熱順化）などを行う
15. 首などを冷やす冷却グッズを利用する
16. 天気予報などで気温や湿度の情報を把握する
17. 天気予報などで熱中症の危険度を把握する
18. 自分のいる環境の熱中症の危険度を測る
19. 公共施設やクーラーの効いた屋内施設や店舗などに行く
20. その他
21. 特に何もしない

(2) ヒートアイランド対策について

Q9. <ヒートアイランド現象の認知度>

あなたは、『ヒートアイランド現象(*)』という言葉や内容を知っていますか。もっとも近いものを1つお選びください。

1. 言葉も内容も知っていた
2. 言葉は知っていたが、内容は知らなかった
3. 内容は知っていたが、言葉は知らなかった
4. 言葉も内容も知らなかった

(*) ヒートアイランド現象

都市部の気温が郊外と比較して高くなる現象。

都市部でのエネルギー消費に伴う排熱の増加や緑地の減少、高層ビルなどによる通風の阻害、道路がアスファルトやコンクリートで固められていることなどから、地表面からの水分蒸発が少なくなるなどによって起きます。

Q10. <ヒートアイランド現象のイメージ>

「ヒートアイランド現象」について、あなたが生活していくうえで感じることは何ですか。あてはまるものを3つまでお選びください。

1. 街なか暑く、日中に出歩きにくい
2. 夜が暑く、夜中に寝苦しい
3. 体調管理しにくく、また熱中症などが心配である
4. 暑さによりエアコンの使用頻度が多くなり、電気代が高くなる
5. 局所的な集中豪雨による浸水被害などが心配である

してお湯を沸かすヒートポンプ給湯器（エコキュート）や、従来は大気中に捨てていた熱エネルギーを利用する潜熱回収型給湯器（エコジョーズ）などがあります。

（* 7）家庭用コージェネレーションシステム（エコウィル、エネファームなど）

エンジンや燃料電池で発電し、そのとき出る熱でお湯を沸かしたり暖房に利用できるコージェネレーション（熱電併給）システムです。ご家庭の電気、給湯、暖房をまかなうことができます。

（* 8）太陽光発電設備

太陽電池により太陽の光エネルギーを電気にかえます。比較的設置しやすいため、再生可能エネルギーの中で現在最も普及しているといわれています。

（* 9）太陽熱温水器

太陽の熱をソーラーパネルで集め、そこに水を通して温水にします。昔から使われている太陽熱利用機器です。

Q12. <打ち水の実施状況>

個人でできる身近なヒートアイランド対策のひとつに『打ち水』がありますが、あなたは、夏場に『打ち水』（草花や木への水やり等も含めて、夏場に水をまく行為）を行っていますか。もっとも近いものを1つお選びください。

1. 毎年行っている
2. 毎年ではないが行っている
3. 以前は行っていたが、いまは行っていない
4. 行いたい、実施できる環境がない
5. 意識がなく、全く行っていない

Q13. <緑のカーテン・カーペットづくりの実施状況>

『打ち水』のほか、身近なヒートアイランド対策のひとつに『緑のカーテン・カーペット（*）』づくりがありますが、あなたは夏場『緑のカーテン・カーペット』づくりに取り組んでいますか。あてはまるものを1つお選びください。

1. 緑のカーテン・カーペットづくりのいずれか1つでも取り組んでいる
2. 以前は取り組んでいたが、今は取り組んでいない
3. 取り組んでみたいが、取り組める環境がない
4. 取り組んでいないし、これからも取り組むつもりはない

（*）緑のカーテン・カーペット

緑のカーテンは、建物の窓際や壁、屋上をゴーヤやアサガオなどのツル性の植物でカーテンのように覆い、夏の日差しを遮るものです。また、緑のカーペットは、サツマイモなどの葉で屋上をカーペットのように覆い、日差しを遮るものです。

Q14. <緑のカーテン・カーペットに関する情報>

あなたはどこで緑のカーテン・カーペットを知りましたか。あてはまるものをすべてお選びください。（複数選択）

1. チラシ・リーフレット
2. 区の広報紙

Q17. <生物多様性に関する情報>

Q16で「1」もしくは「2」を回答された方にお聞きします。

あなたは「生物多様性」という言葉をどこで知りましたか。あてはまるものをすべてお選びください。(複数選択)

1. 大阪市の開催する環境学習講座
2. 大阪市関連施設でのイベント、展示等
3. リーフレット、冊子
4. 大阪市ホームページ
5. なにわエコスタイル(大阪市が運営する環境学習情報発信サイト)
6. SNS(X・Facebook・Instagramなど)
7. テレビ、新聞、雑誌
8. 家族、友人、知人
9. その他(具体的に:)

Q18. <生物多様性の恵み>

あなたは日々の暮らしの中で、自然や生き物(*)を身近に感じますか。あてはまるものを1つお選びください。

1. 感じる
2. 感じない(⇒Q20へ)
3. わからない(⇒Q20へ)

(*) 生き物

動物や植物等の命があるものすべてをいいます。

Q19. <自然や生き物を身近に感じる時>

Q18で「1」を回答された方にお聞きします。

あなたは日々の暮らしの中で、どのような場所で自然や生き物を身近に感じますか。あてはまるものをすべてお選びください。(複数選択)

1. 公園
2. 道路
3. 寺・神社
4. 川辺
5. 建物(寺、神社、学校を除く)
6. 海辺
7. 学校
8. その他(具体的に:)

Q20. <生物多様性保全に貢献する取組>

生物多様性を保全し、自然と共生していくためには、一人ひとりの行動も重要です。あなたが現在実行していることはありますか。あてはまるものをすべてお選びください。

1. 地産地消を心がけ、旬の食材や自分が住んでいる地域でとれたものを食べる

2. 食品ロスなどの無駄な消費をなくすように心がける
3. 省エネなど地球温暖化防止に配慮したライフスタイルを心がける
4. 生物多様性に配慮した認証製品（＊１）や生物多様性保全に貢献している企業の商品やサービスを選ぶ
5. 外来種（＊２）をペットとして飼ったり、栽培するときは責任を持って行き、放したり捨てたりしないようにする
6. 海、山、川などに行き、身近な自然を楽しく経験する
7. 山や川、海など自然のなかへ出かけるときは、ごみ捨てなどのマナーを守り、自然を汚さないように努める
8. 清掃活動に参加するなど、まちの美化に努める
9. 自然観察会などの活動に積極的に参加し、自然に対する理解を深める
10. 里山、農地、ため池など身近な自然環境の保全活動に参加する
11. 外来種（＊２）の駆除活動や希少種の保護活動に参加する
12. その他（具体的に： _____ ）
13. あてはまるものはない（複数選択不可）

（＊１）生物多様性に配慮した認証製品

主な認証制度として、MSC認証制度、国際フェアトレード認証制度、RSPO認証制度、レインフォレスト・アライアンス認証などがあります。



（＊２）外来種

外来種とは、もともとその地域にいなかったのに、人間の活動によって他の地域から入ってきた生物のことを指します。

外来動物の例：アメリカザリガニ、ミシシippアカミミガメ（ミドリガメ）など

外来植物の例：シロツメクサ、ホテイアオイなど

（４）大阪市の環境学習関係事業について

Q21. <環境問題への興味・関心>

どのような環境問題に興味・関心をお持ちですか。あてはまるものをすべてお選びください。

- 1 地球温暖化
- 2 大気汚染
- 3 水質汚濁・海洋汚染
- 4 生物多様性の損失
- 5 森林破壊
- 6 資源枯渇
- 7 上記以外の環境問題（具体的に： _____ ）
- 8 環境問題に興味・関心はない（複数選択不可）

Q22. <環境学習の経験>

「環境学習（*1）」という言葉を知っていますか。あてはまるものを1つお選びください。

- 1 知っており、環境学習をしたことがある
- 2 知っているが、環境学習をしたことは無い
- 3 知らないが、説明を読んで環境学習に興味があった
- 4 知らないし、環境学習はやりたくない

（*1）環境学習

SDGs（持続可能な開発目標）（*2）、地球温暖化の仕組み、ヒートアイランド現象の仕組み、生物多様性の重要性などについて、自ら書物・ネットで学ぶなど、環境問題について理解を深めるための教育や学習のこと

（*2）SDGs（持続可能な開発目標）

2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界をめざす国際目標です。17の目標があり、気候変動やエネルギーなど環境に関連した目標もあります。

Q23. <環境学習の経験>

Q22で「2 知っているが、環境学習をしたことは無い」または「4 知らないし、環境学習はやりたくない」と回答された方におたずねします。その理由を教えてください。あてはまるものをすべてお選びください。

- 1 どうしていいかわからない
- 2 仕事や家事、他の学業などで時間がない
- 3 どこでどんな環境学習が実施されているかなどの情報が無い（少ない）
- 4 参加したい学習講座等が見つからない
- 5 気軽に参加できる講座が無い（少ない）
- 6 環境に興味・関心がない
- 7 資金がない
- 8 一緒に学ぶ仲間が見つからない
- 9 その他

Q24. <環境学習関の認知度>

大阪市では以下のような環境学習講座・イベントを実施及び検討しています。参加してみたい、又は参加したことのある講座・イベントを、すべてお選びください。

- 1 オンライン、動画配信による環境学習講座
- 2 環境に関するポスター展示、イベント
- 3 「ECO縁日」（毎年10月～11月ごろに鶴見緑地にて開催する環境イベント）
- 4 区民まつり等での環境学習に関するブース出展
- 5 「生き物調査」、「鳥さがし」など生物多様性に関する講座

- 6 「ごみ処理施設の施設見学」など廃棄物に関する講座
- 7 「米づくり」、「伝統野菜づくり」、「植樹体験」など植物に関する講座
- 8 ARタブレットを活用した体験型環境学習コンテンツ
- 9 参加したくない（複数選択不可）

Q25. 〈環境学習への興味・関心〉

Q24で1～8を選択された方におたずねします。本市の環境学習に興味を持った又は参加した理由として、あてはまるものをすべてお選びください。

- 1 なんとなく今のままではいけないと思うから
- 2 異常気象など今の状況に明確に危機を感じているから
- 3 未来のためによりより環境を残したいと思うから
- 4 過去に学校で習ったり環境教育を受けたりしたから
- 5 自然災害を経験したから
- 6 過去に環境に関するイベントに参加したから
- 7 内容が面白そうだから
- 8 その他
- 9 分からない

Q26. 〈環境学習への参加しやすい環境〉

大阪市が実施する環境学習講座・イベントのうち、どのような講座・イベントであれば参加したいですか。あてはまるものをすべてお選びください。

- 1 自宅、勤務先などから参加しやすいもの（オンライン開催、距離的に近い場所での開催）
- 2 休日開催のもの
- 3 平日開催のもの
- 4 子どもと一緒に参加できるもの
- 5 区役所や図書館など公的な施設で実施されるもの
- 6 参加したくない
- 7 その他（自由記入欄）